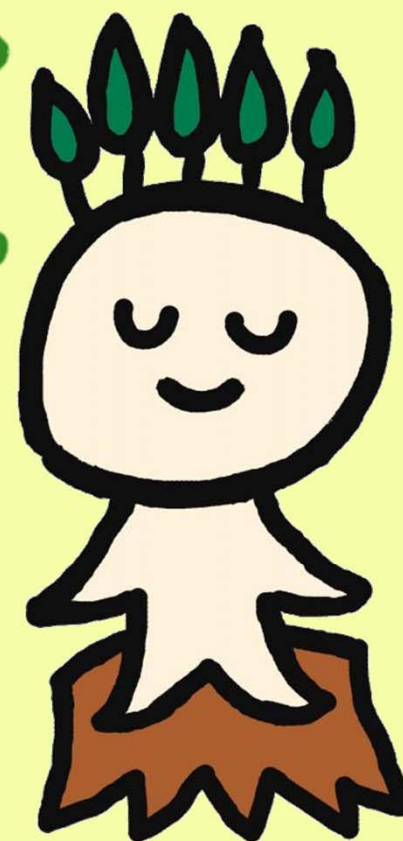


ご存知ですか？

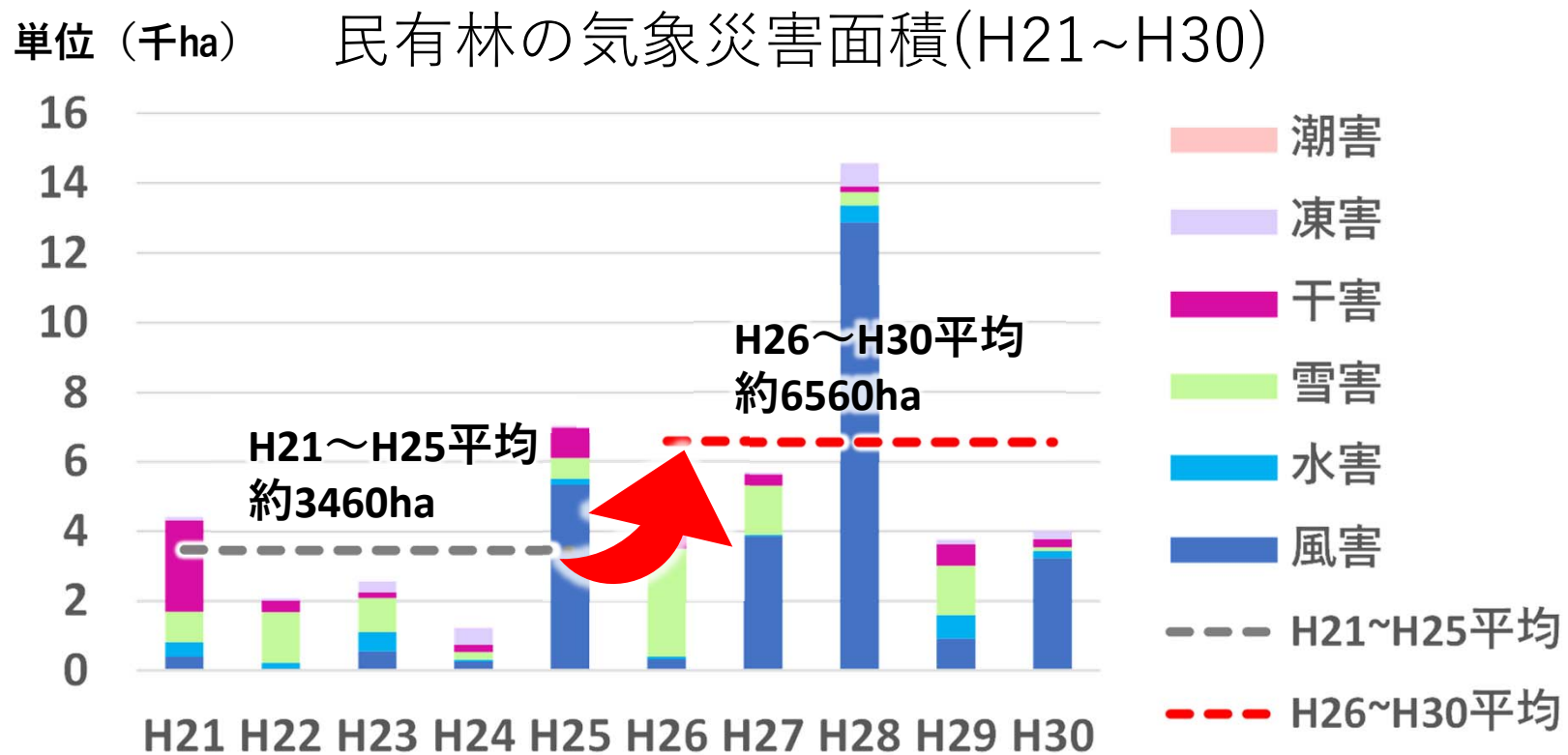
森林保険



(国研) 森林研究・整備機構 森林保険センター

近年の気象災害

近年、地球温暖化による気候変動等により、大規模な自然災害が多発する傾向にあります。



出典：「森林・林業統計要覧2020」

森林保険とは

森林保険は、8つの災害を総合的に補償し、
森林所有者自らが災害に備える唯一のセーフティネットです。



森林保険イメージキャラクター
マモルくん

火災



風害



水害



雪害



干害



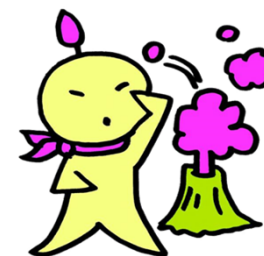
凍害



潮害

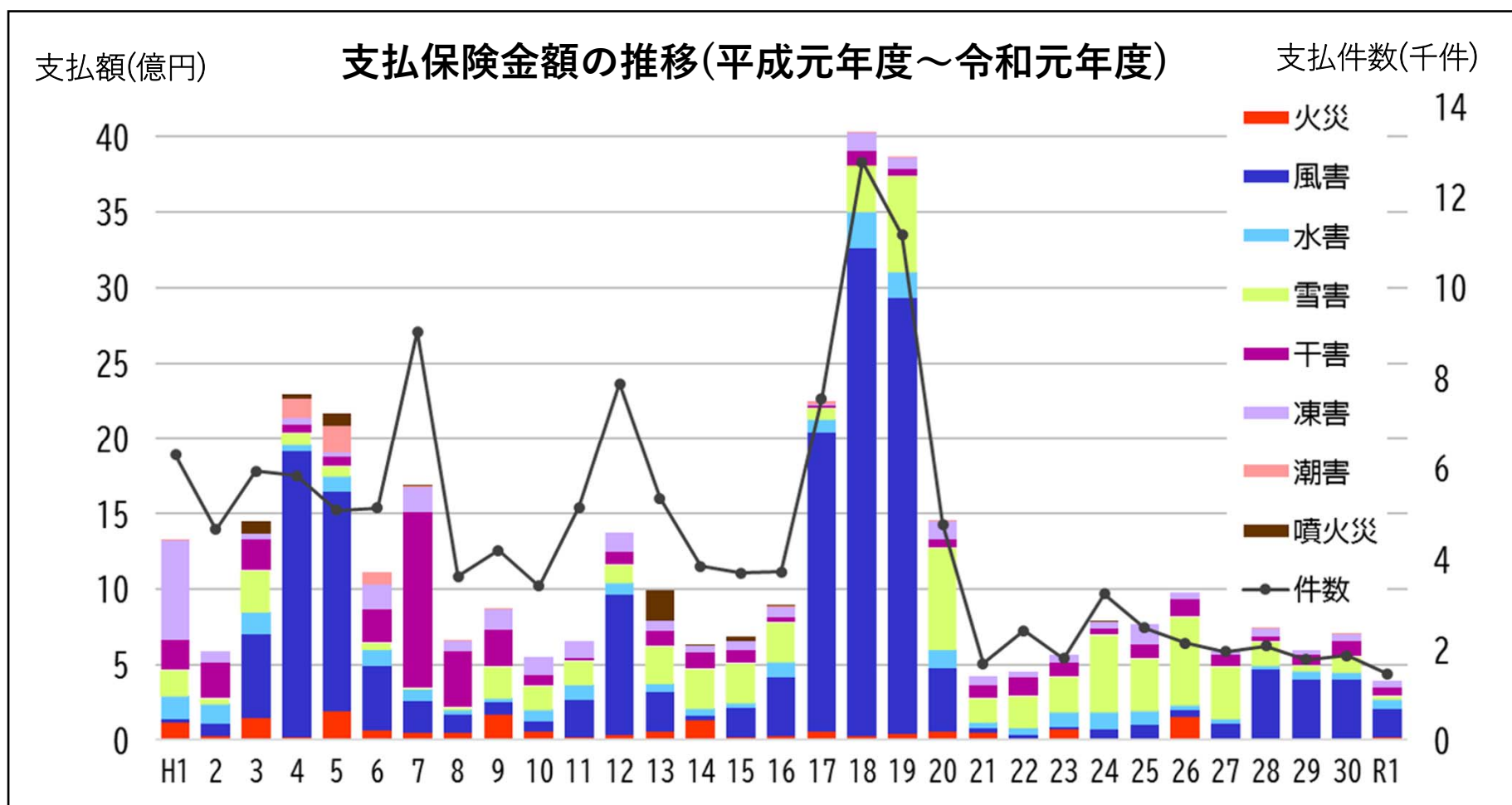


噴火災



支払保険金額の推移

これまでに、多くの災害に対してこれだけの保険金を支払ってきた実績があります。



保険金のお支払い事例

火災 平成27年 秋田県

お支払いした保険金 約 2 2 9 万円

ha当たり

お支払いした保険金 約 1 8 8 万円

年間保険料 4,539円 / 年



詳細データ

樹種	スギ
損害時林齢	6年生
契約面積	2.34 ha
実損面積	1.22 ha
付保率	100 %

保険金のお支払い事例

水害 平成30年 群馬県

お支払いした保険金 約 1 0 0 万円



ha当たり

お支払いした保険金 約 1 1 9 万円

年間保険料 5,056円 / 年

詳細データ

樹種	スギ
損害時林齢	3年生
契約面積	8.33 ha
実損面積	0.84 ha
付保率	100 %



保険金のお支払い事例

雪害 平成27年 長野県

お支払いした保険金 約 3 6 2 万円

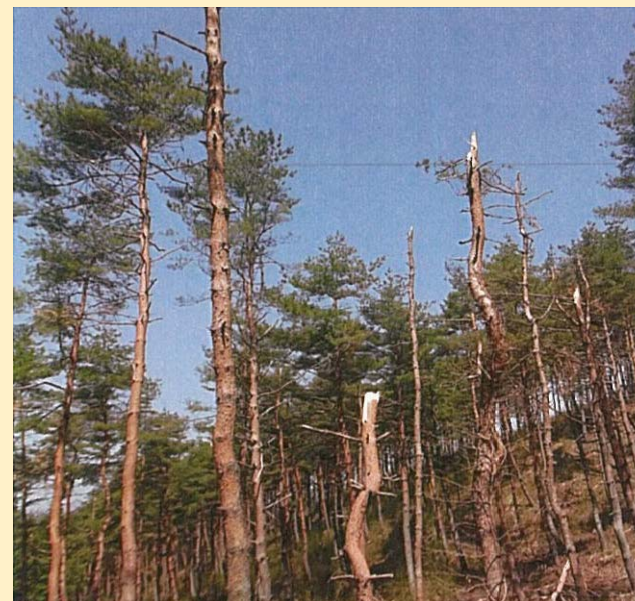
ha当たり

お支払いした保険金 約 1 2 0 万円

年間保険料 3,575円 / 年

詳細データ

樹種	アカマツ
損害時林齢	47年生
契約面積	10.69 ha
実損面積	3.02 ha
付保率	80 %



保険金のお支払い事例

風害 令和元年 千葉県

お支払いした保険金 約 109 万円

ha当たり

お支払いした保険金 約 279 万円

年間保険料 6,997 円 / 年

詳細データ

樹種	スギ
損害時林齢	27年生
契約面積	0.39 ha
実損面積	0.39 ha
付保率	100 %



保険金額と保険料の目安

◇例えば・・

100万円の保険に加入。
その森林が台風で全損した場合



お支払いする保険金 **100万円**

保険料（掛け金） **3,220円/年**

注1) 6年生以上の針葉樹・地域区分がBの場合です。

注2) 樹種・林齢・都道府県（地域区分）によって保険料は異なります。

注3) 損害の程度によってお支払いする保険金の額が異なります。

割引もあります

様々な割引制度があります。

◇長期割引

◇継続割引

◇花粉症対策苗木割引

詳細は、森林保険センターHPをご覧ください。

森林保険センター

検索



森林保険Q & A

契約対象となる森林は？



1. 人工的（植栽、挿木、播種）に生立した森林
2. 天然更新によって生立した森林のうち
 - (1) 樹種、林相及び材質改善のため保育を行ったもの
 - (2) 天然更新補助作業を行ったもの
 - (3) ぼう芽整理、除伐等の保育を加えたぼう芽林
など、人手が加えられた森林

森林保険Q & A

契約対象となる森林は？



※以下の樹木は契約対象となりません

- ツツジ、アジサイ等の低木や庭木、街路樹
- 天然に生立している母樹等や契約締結後に契約区域内に生立した樹木
- 契約締結後に補植や改植をした樹木

ドローンや航空写真の活用

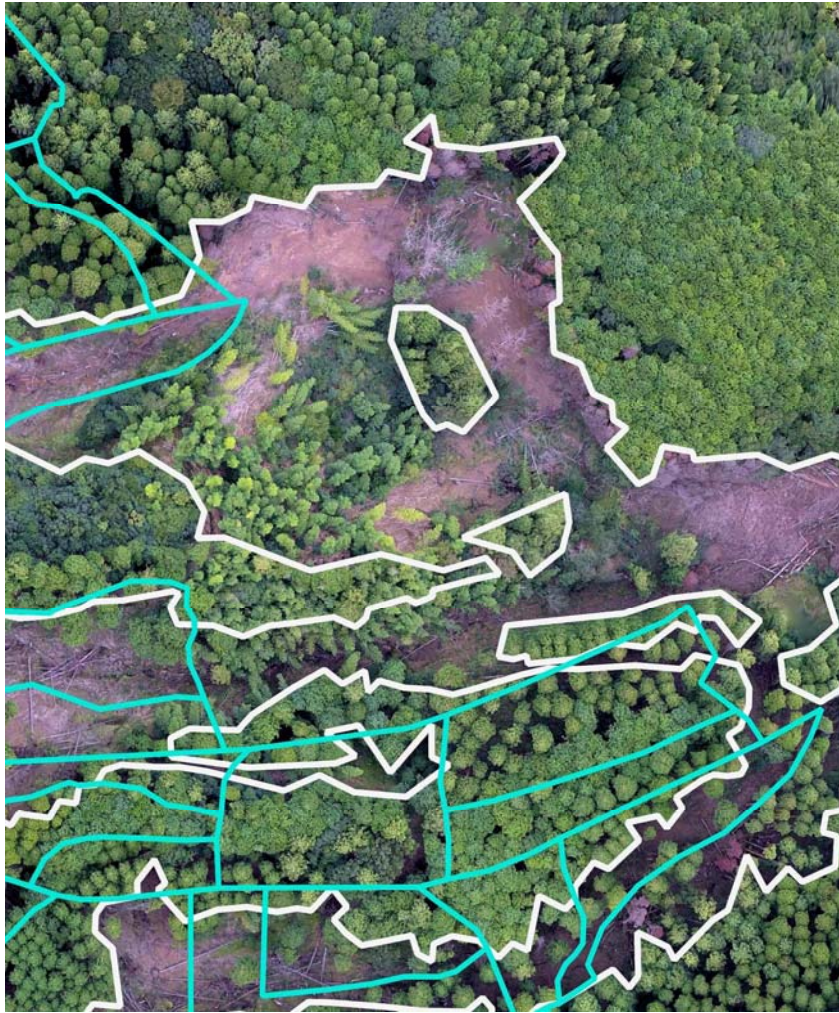
森林保険では、契約した森林が気象害等により損害を生じた場合に、保険金をお支払いするための現地調査を行っています。

集中豪雨等により大規模な災害が起こった場合、林道等が崩落し、現地調査に行けなかったり、崩壊地付近での調査に危険を伴うなどの課題がありました。

そこで、森林保険センターではドローン等を活用した損害調査に取り組んでいます。



ドローンや航空写真の活用



(平成29年7月九州北部豪雨被害箇所)

(写真) 白色の線：損害区域
水色の線：林小班界

◆ 森林損害調査への ドローンの活用

ドローンで撮影した写真を
オルソ化（正射投影に補正）
することで、画像から損害区域面
積の測定や標準地の設定・調査を
行うことができます。

これまでに、

- ・ 平成29年7月九州北部豪雨
- ・ 令和元年東日本台風
- ・ 令和2年7月豪雨

による大規模な水害での活用実績
があります。

ドローンや航空写真の活用

◆ 森林損害調査への 固定資産税調査用航空写真の活用

被害箇所が広範囲に点在する場合、ドローンを活用した現地調査でもフライト回数が多くなり時間を要することになります。

そこで、市町村が撮影した固定資産税調査の航空写真を、令和2年度に活用させていただき、現在、保険金の支払いをすすめています。

【罹災前の写真】

崩落箇所内を罹災前の写真上で標準地調査



凡例

- 契約区域
- 損害区域
- 標準地等区域
- 立木

【罹災後の写真】

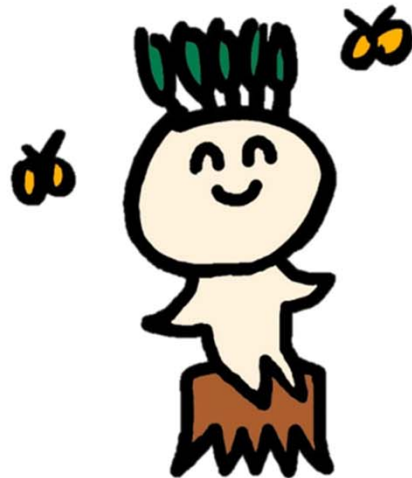
崩落前の写真と比較して損害区域を特定



保険金の早期支払いに向けて

自然災害等で森林が損害を受けたとき、いち早く保険金をお支払いすることは森林保険センターにとって重要な責務です。

今後も、様々な取組により、被保険者の皆様に少しでも早く安心をお届けできるよう、努めてまいります。



森林保険のお申込みのご相談は
最寄りの森林組合、または
森林組合連合会までご相談ください。



個人、法人を問わず
どなたでもお申し込みいただけます。

森林保険



(国研) 森林研究・整備機構 森林保険センター
2021年10月